

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102922
法人名	有限会社ケアサ - ビス
事業所名	グル - プホ - ム はまゆう 堀江
所在地	愛媛県松山市福角町甲200番地1
自己評価作成日	平成21年11月22日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日々の暮らしの中で地域の交流が盛んに取り組まれ、気軽に出入りされたり、地域の方と畑で農作業を、利用者と共に協働し収穫した作物を差上げたり、頂いたり日常的な交流が図れている。地元の公民館活動も老人会で共有し地域行事 誕生会等地域の皆さんと共に参加し協働したり、共楽 共遊している。近隣の暮らしが快適な環境下で利用者の表情も穏やかでのびのびと個々の残存能力を發揮しお便り等でも交流し家族ぐるみで地域の一人としての生活が営まれている。故郷に帰省時や旅行された方からの手土産等も頂く等数知れない温かい地域に恵まれたアットホ - ムのわが家です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では「しっかり食べてしっかり動く」ことに努めておられ、利用者がおいしいものを食べることができるよう取り組まれている。ご自分達が作った野菜や地域の方からいただいたもの等をふんだんに使用して、調理の仕方を利用者と相談しながら食事作りをされている。食事ができると、台所までご自分の食事を取りに行くようにされており、利用者の方は「私たちが、ちょっとでも歩くようにしてくれているのよ」と話しておられた。歩行状態に合わせて汁物の量を調節して、持って行きやすいようにされていた。煮物のレンコン等は、ご本人にお聞きしてから小さく切って食べやすいようにされていた。「家で食べる食事と同じよ」と話して下さる利用者の方もあった。
事業所では「利用者が自発的に活動できるような環境作り」に努めておられる。職員が行うのでなく、利用者に行ってもらえるような声かけや対応等にも心がけておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印	項 目		取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) リビング スタッフルームに理念を掲げ、就業前に復唱し、実践に向け取り組んでいる。地域の中で畑作業を利用者と一緒に地域の方に教えて頂いたりして、交流し、訪問しやすい環境下で地域の方が度々訪問されたり、共にお茶や食事をしたりして楽しんでいる。 (外部評価) 事業所では、理念の一つに「地域、ボランティアの方々との交流を深め、安心と快適な環境を作ります」と掲げて、日常的な地域交流に努めておられる。又、「自立・自発・環境」をキーワードに地域やご家族と、ともに取り組みをすすめておられる。法人代表者(管理者)は、新人職員の面接時には、事業所の目指すことを話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 老人会の方々と、誕生会、さつき展、菊花展、食事会等を共にし地域の一員として生活を営んでいる。施設の行事に招待したり、地域の方の訪問時には利用者が積極的に接待したり、出会った時住民としての交流が図れている。 (外部評価) 事業所の畑の野菜作りや庭のお花作り等を通じて、地域の方達との交流をさらに深めておられる。農家をされている方がミカンや野菜をおすそ分けくださることも再々で、事業所や利用者個々からお礼や感想を伝えるようにされている。近所の方が雨の日、農作業ができないからと、事業所に訪れマッサージ機にかかったり、お茶を一緒に飲まれたりすることもあり、来られた時に調子の悪そうな時には血圧を測ってみられる等、体調にも気遣いをされている。法人代表者(管理者)は、「オープンな事業所」を目指しておられ、事業所の外面に冬場イルミネーションを点灯して楽しんでいただいたり、事業所の行事時にも地域の方も招き、一緒に楽しめるような計画を立てておられる。玄関から入った際、見えるところに「地域の皆様いつもありがとうございます」と掲示されていた。地域の方達に向けて日頃のおつきあいの感謝の言葉を利用者個々に年賀状に書いて、送るようになっている。さらに、近所の方が介護の相談に来られることもあり、一緒に考えながら他施設につなげることもある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方々が相談に訪問された時等対応したり、適切な機関の紹介も行っている。運営推進会議や、公民館で認知症への理解や接し方等実践を活かした取り組みを行い 行事参加災害時には、地域の方々に協力して頂き充分理解が得られている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、利用者 家族、 地域の方々 民生委員 行政の参加を得、その都度抱 え込み問題を相談しながら検討して意見や助言を頂き 反映しながら和やかな中で取り組みができています。</p> <p>(外部評価) 会議は、事業所の活動や研修で学んだことを報告され ている。又、事業所だけでは解決がつきにくいような ことについて、地域の方のお知恵をお借りすることも あり「吹き抜けの天井の電球が切れ、天井が高いので 交換しにくい」と相談すると、早速、近所の方が夫婦 で来られてはしごを使って交換してくださった。会議 のメンバーの方も一緒にお花見に行かれたり、時には 職員とメンバーの方で食事に行くこともある。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や行事に参加していただき、普段の生活 を見ていただいている。 疑問に思った事や、判断に誤りがないか確認したり、 身寄りのない方、困難事例等、市や包括支援センター 等に相談し、協力を得ている。</p> <p>(外部評価) 公民館で行われる地域包括支援センター主催の研修に 参加されたり、運営推進会議時には市の担当者の方か ら「地域とのおつきあいが多くて、いいですね」と感 想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束についての研修会を行い、どのような事が、 身体拘束なのか、しない為の工夫、拘束による弊害等 を全スタッフが理解し取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 職員は、外部研修等で身体拘束について勉強されてい る。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>虐待はあってはならない事であるが意識なくしている事等ないよう職員同士注意しあい、意識して、穏やかな気持で介護し、虐待等の行為に移行しないようにしている。虐待に対する研修を行い徹底する。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族等が必要と思われた時は、制度や相談先を紹介する。研修があれば参加し、知識を高めていく様になっている。パンフレットを施設内にいつでも見れるよう設置している。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>疑問や不安には理解を得られ、納得される迄説明を行うように言葉だけでなく、表情や態度等も観察し、少しでも疑問や不安が感じられたら、一方的に説明するのではなく、問い掛けや不安の原因を引き出すようにしている。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族会や、運営推進会議、面会時に意見の交換や要望等聞き家族と信頼関係を構築している。家族の意見を充分反映して、質の向上に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人代表者（管理者）は、利用者個々の様子や運営推進会議の内容等を書いた便りを、毎月ご家族に送付されている。新人職員が入った際には、代表者がご家族に自己紹介して挨拶をされている。行事の日時等の予定やいただいた野菜の調理方法等をご家族に相談したり、教えていただきながら運営をすすめておられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>事業所の運営や大事な事項に関しては、伝達でなく全員参加して頂き職員の意見等にも傾聴して前向きな姿勢で体制を図り質の向上心を持って働けるよう配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外国人雇用にも、力を入れて取り組んでおられる。今年度、県GH連絡協議会の相互研修に参加され、職員は他ホームの取り組みをみることで、気付く点も多かったようである。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>職員個々の努力や各自向上心を持って働ける職場環境勤務形態等個々の事情にも配慮して条件整備している。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>職員個々の経験を把握し、研修案内は全職員に回覧すると共に、質の向上等を勘案しながら、個々に研修するよう指導している。研修後は伝達研修を行い、他の職員もレベルアップするようにしている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>9月には相互研修を行い、他の職員も伝達研修を行い、利用者と共に施設で作った野菜等を手に他のホームに訪問したりして交流を深めている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>入居前に家族と共に施設見学して頂き、不安や疑問に答え、生活への要望等を聞き入居者とも接して、生活の実態を知って頂く。入所直後は本人を良く観察し、生活していく中でも、言動や気付きにより、不安な事や要望を把握、安心できるよう解決しながら信頼関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に本人家族共に施設見学して頂き、面談を行い、家族のかかえている問題や不安、要望等を傾聴している。入居前の生活状態医療情報、アセスメント情報を収集し、安心した生活へと結び付けている。入居後におきた不安、要望等も傾聴解決し、いい関係を築いている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前、入居時、家族、本人、アセスメント情報、医療情報等収集し必要なサービスを見極め、その内容を明確に説明し支援する。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々の自立支援を目標に残存能力を全員が理解共有してしてあげてなく、一人一人の残された能力を職員全員が理解共有して、それぞれ発揮してもらいながら利用者同士のみならず、職員も支えてもらっている、解らない事を教えていただく等たよりにしている事、家族であることを常に話している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 運営推進会議や、家族会議等で信頼関係を築くことが出来利用者の支援につながっている。柔軟性を持つて家族等の相談を受けている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入所前から利用者している理容店の方が送迎されて、散髪したり、農作業で関りがあつたお宅へ繁忙期に手伝いに行ったりされている。友人宅へ訪問また訪問受けたりされている。現在では地域の方が逆に旅行の土産をさげて長時間話しに来られたり、新しい関係も生まれている。 (外部評価) 利用者は、友人に電話されたり、会いに来てくれることもある。又、馴染みの理容店の方が定期的を送迎してくれ、これまでと同じ理容店で散髪をされている方もある。知人の農家の玉ねぎの収穫をお手伝いに行かれる方もある。自治会や老人会、公民館の行事等には利用者もよく出かけておられ、利用者は事業所の所在する地域の方とも顔見知りとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の残存能力を活かし、テーブル席で世話や言葉かけ等を行い、共楽共遊できている。他にも沢山の共有が図れている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用者が終了後も入所中同様本人、家族が介護や医療に関する相談に見えたり、転居先に訪問し、入所中同様継続支援している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) アンケートを定期的に徴集し、利用者個々の意向や希望が伝えられない場合は、行動や表現から探り、カンファレンスにて把握している。 (外部評価) 職員は、利用者個々の性格やできること、できないこと等をよく知っておられる。日常生活の中で、お芋料理が続くと「嫌ではないですか?」とアンケートを取られたり、「どこへ行きたい?」「職員にどんなことをしてもらいたい?」等、又、敬老会等への参加についても利用者個々にアンケートを取ってご意見を聞き、反映されている。	現在、利用者は、よくご自分の意思を表してくださっているようだ。日々、利用者から得た情報を集めて事業所独自のアセスメント表に取り組みましてはどうだろうか。ご本人の思いや意向を探り、よりご本人らしい暮らしを支えていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個々の情報を徴集し、本人や家族と馴染みの生活を継続できるよう生活環境を整えている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の中で、心身状態を把握し、多様な面から観察し、個々の有する能力を発揮できるように、全員で取り組み出来るように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の生活歴 個性 要望や心身状況等を全員で把握し、その人らしく生活する為の課題を明確にし、観察気づきを共有して家族 地域 医療面等インフォ-マルな支援も視野にいれ介護計画作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時に要望をお聞きしたり、地域の催しや畑・庭での活動等も採り入れ、ご本人の生活が広がるような計画の作成に取り組んでおられる。3か月ごとと状態変化時に介護計画を見直しておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の日々の記録、身体状況、職員間で情報共有しながら実践に活かしアセスメント モニタリングを繰り返し改善できるように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の通院 入院時等、家族の要望に応じて支援をしたり、利用者のお墓参り等に連れて行ったり、家族の状況に応じて柔軟な支援に取り組み退所後も継続して相談受けたり、支援している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の意向や必要性に応じて老人会 地域ボランティア 小学校等の行事に参加したり畑にて地域の方と協働作業ができ住み慣れた地域で楽しく暮らしができるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 入居前のかかりつけ医がある場合は、特別に家族の要望がない限り、情報交換を密に行いながら、継続的に受診できるようにしている。かかりつけ医は、家族本人の意向に応じている。</p> <p>(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医の受診には、必ず看護師が同行して医師と話し合い、お薬等についても普段の生活の様子を伝え、食事や生活等の工夫や配慮で支援できることはないか相談されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者が平常と違った状態が見られた時はよく観察し、状態を把握の上看護職員に伝達報告し、必要な処置受診が行えるようになっている。看護師は、心身状態の把握に努め適切に判断し必要に応じて医療機関との連絡体制を図る。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院前に家族、本人病院と話し合い密に連携をとりながら身近な職員が面会をし、安心して入院生活が送れるようにしている。情報交換を行いながら、施設では対応可能時期を見極めできるだけ早期に退院を目指し、リハビリ等は生活リハビリで対応できる場合は住み慣れた環境で回復に努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入所時及び重度化、終末期の初期の段階に本人家族の意向を聞き、施設の方針を明確にし、本人 家族の意思表示を確認し、医療、家族、看護、介護職員それぞれの役割を担いながら、変化に柔軟に対応し共有できるようにしている。管理者は、常に身体状況を把握して、医療機関と連携図りながらチ - ムで支援している。</p> <p>(外部評価) 入居時に、終末期のあり方について、ご家族の要望をお聞きして、又、個々の状況にて段階ごとに関係者と相談しながら「利用者にとって終末期をどのような状態で暮らすのがよいかを明確に」して支援されている。「事業所で最期までお願いしたい」と希望される方も多くある。事業所では「ヒヤリハット記録」を用いて、いざという時の対応等についても話し合いをされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 利用者の急変時や事故発生時に備えて研修したり、対処方法等については、随時看護師が、指導し、全員に研修内容等伝達できるようにカンファレンスに記録し徹底するよう促している。再発防止 応急処置についての検討会議もヒヤリハット等全員で取り組み実践に繋げるよう努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難、通報 消火の訓練を実施している。近隣住民に運営推進会議等で災害防止の検討も行ったり、地域の方々に豪雨時対策において助言頂いたり協働して災害発生時に地域と協力体制が図れた。 (外部評価) 年に2回、避難訓練をするようになっており、9月には法人代表者(管理者)が、新人職員に火災時等の通報の手順を説明された。今年の大雨の時、事業所横の川が氾濫した際には、地域の方が急きょ「土のう」を作って水害を防いでくださった。	さらに、地震や夜間時、又、利用者や地域の方も参加して避難訓練を行う等の取り組みもすすめていかれてほしい。避難訓練時、職員が気付いたことや課題点等を活かして次の取り組みにつなげていく等、訓練を重ねていくことで利用者、職員、ご家族、地域の方達等の安心と安全を確保できるよう取り組みをすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人のプライバシーの確保を徹底するよう促し研修にて共有できるように努めている。リビングにプライバシーの保護について掲示しており、お互いの言葉かけにも普段から注意しながら日々の支援の中で自尊心を傷つけない様な配慮も含めて努めている。 (外部評価) 事業所では「利用者が自発的に活動できるような環境作り」に努めておられる。職員が行うのではなく、利用者に行ってもらえるような声かけや対応等にも心がけておられる。調査訪問時、法人代表者(管理者)は、利用者の発言に「元気をもらいました。 さんには、教えてもらうことが多いです」と感謝の言葉をかけておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中で、個々の表情や背景の 言動等に注意キャッチしながら、本人の希望や好みを意図的に引き出す取り組みをして職員全員に伝達し個々の状況を把握できるように努めている。アンケート等行い表現できない方等の意見 希望が把握できるように多様な面で心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日常生活の中のさまざまな面で一日のスケジュール等の利用者に声掛けをし、自由な選択をして頂けるよう工夫している。意思疎通が難しい方には、個別に説明しているが、常に自尊心を傷つけないように配慮しながら行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 衣服の選択が自由に楽しめるよう、季節の衣類等見やすいように一緒に整理したり、化粧や髪が整えられるよう、鏡を用意したり、洗面所がいつでも使用できるようにしている。支援が必要な方には職員が好みに合わせて一緒に行き楽しんでいる。理美容は馴染みのところに行ったり、家族の方々が行っている。毎朝自由にお化粧されている方もおられたり何度も衣装替えて楽しめる方もいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理 後片付け等も出来る事を一緒に協働し、自由選択食等も取り入れ好みの物を食べたり、利用者と共に畑から採ってきた野菜や地域の方々から頂いた物から献立を考えたりして、季節の新鮮な材料で皆さんと豊富なメニューで楽しい食卓で満足している。アンケート等により食事等調整も図ったり、意見等も取り入れたりして美味しく味覚を味わっている。 (外部評価) 事業所では「しっかり食べてしっかり動く」ことに努めておられ、利用者がおいしいものを食べることができるよう取り組まれている。ご自分達が作った野菜や地域の方からいただいたもの等をふんだんに使用して、調理の仕方を利用者と相談しながら食事作りをされている。食事ができると、台所までご自分の食事を取りに行くようにされており、利用者の方は「私達を、ちょっとでも歩くようにしてくれているのよ」と話しておられた。歩行状態に合わせて汁物の量を調節して、持って行きやすいようにされていた。煮物のレンコン等は、ご本人にお聞きしてから小さく切って食べやすいようにされていた。「家で食べる食事と同じよ」と話して下さる利用者の方もあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の摂取量を毎食記入し、好みの飲み物を提供したり、メニュー、好みの食物を聞いたり、温野菜刻み菜等、個々の状態に合わせている。体重も入浴度測定し、自由に水分補給できるようにテ-ブルに各自準備している。不足がちな方には、適宜一日の水分量をチェックし補給して健康管理を行いながら提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食前にはうがい、食後は歯みがきの習慣づけを行い、自立できる方もあり、自発的にできない方は洗面所誘導等し、できない部分の介助を行い清潔保持に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 時間や排泄パターンを把握し、尿意の定まらない利用者にも時間を見計らい誘導することにより気持ちよく排泄できるよう支援している。日中は排泄汚染なく失敗してしまった場合でも、本人の自尊心を傷つけないように周囲にも配慮をしながら対応している。	
			(外部評価) トイレで排泄できるよう取り組まれており、介助が必要な方についても、ご本人が使用している際はドアを閉めて、外で待つようにされている。食事を工夫して、自然な排泄に心がけ、利用者が健康でいられるように努力されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 薬に頼らないよう、規則的な生活、食物繊維の多い献立、水分の摂取、運動等を行い、定時の排便習慣をつけ、便秘の予防を行っている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 個々の希望に合わせ、時間やタイミング等、個別に合った入浴支援を行っている。個々の意向や習慣を大切に、入浴を楽しめるよう支援している。季節に応じて、ゆず湯等喜ばれている。回数等アンケートにて決めているが季節によっても異なる。	
			(外部評価) 入浴時には衣服の着脱や体を洗う等、ご自分でできることはできるだけ行ってもらうよう支援されている。湯船で温まりながら手をグーパーして運動すること等もすすめておられる。入浴を嫌がられる方もゆず湯にすると喜んで入られるようである。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の生活習慣やその時の状況や状態に考慮しながら、日中の活動量を増やし、生活リズムを整えるよう努めている。就寝に向け、リズムが安定するよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の説明書を個人別にファイルし、職員が共有し、準備する者と服薬介助する者双方が確認し合いながら服用忘れや誤薬のないようにしている。日常の状態を記録すると共に通院時情報を提供し、服薬調整してもらっている。服薬管理は管理者 看護師が行い状態の変化時等は、詳細な記録をとり、医療機関と連携を図り、相談を行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者それぞれの趣味や得意な分野を活かし、個々の楽しみごとや役割 嗜好品（畑仕事、花の手入れ、裁縫 食事調理の食材）等楽しみながら気分転換できるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買物、公民館の行事等希望に応じて外出し、個々の状態に合わせて、日常的に散歩のコースや距離を勘案して、全員が外出し、季節感を味わい、挨拶をかわしたり、五感を刺激できるようにしている。家族面会時ドライブや散歩にも出かけられるよう支援している。外出時地域住民に協力を得ながら、外出困難な方への支援もしている。	
			(外部評価) 手作りお弁当を持って近くの公園にお花見に出かけたり、畑仕事や庭の手入れ等、外に出て活動する機会を多く作っておられる。利用者は、公民館行事や老人会の催し等、事業所の所在する地域の中で顔見知りになった方も多い。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 日常の中で、利用者本人の希望に応じてお金を所持したり使えるように支援している。希望の品物を買ったり、その計算を利用者本人に行ってもらい大切さの理解 安心感 満足感等、金銭管理の支援をしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯電話を持ち、自由に家族、友人と連絡をとっている。要望があれば 子機にて電話したり、本人に取り次いで直接話してもらっている。手紙は、地域の方 運営推進会議等各関係者等に全員寄せ書きにてお礼状書いたり、年賀状 暑中お見舞い等一般と同様に必要に応じて出したり、頂いたりしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>天窓、吹き抜け構造で広い窓から自然日差しが入り、リビングには観葉植物や、四季の花を飾り、季節感があるようにしている。台所はオープンにし、調理を積極的に手伝われたり、匂いで食事を楽しみにされている。前に庭があり、花や、野菜を作っており、自由に屋外に出ることができ、開放間や季節感が味わえるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>天井は吹き抜けになっており、利用者は「天井が高くて気持ちがいい」と話しておられた。居間には丸いテーブルが3つあり、それぞれの場所で食事したり、おしゃべりをされていた。畳の間にはマッサージ機やこたつがあり、くつろぐ場所になっている。夏場には南の窓にすだれを吊るようになっている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の性格や相性等勘案してテーブル席を決めソファや和室で人の気配を感じられる場所を設け一人になりたいときは、自由に自室で過ごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自宅で使っていた物、大切にしている物を持ち込んで頂き、本人と話しながら使い勝手の良い配置をしたり、必要なものは、一緒に買い物に行ったりして、環境を整えている</p> <p>(外部評価)</p> <p>「夜、お部屋の窓から星をみるのが好き」とお話しくださる方もあった。ご家族が持って来てくださったシクラメンのお花を飾っておられる方や枕元にお好きな本やハンドクリーム等、ちょっと使うものを置いておられる方も見られた。利用者同士でお部屋を行き来して過ごされる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレの便座移動時の便座の高さ 可動式手すりを安全に移動しやすく設置している</p>	